

# 第71回春季東北地区高等学校野球宮城県大会

口大会第6日目 5月25日(土)

準決勝 石巻市民球場 1時間 39分

聖和学園	0	0	0	0	2	2
仙台育英	3	1	0	1	8X	13

【聖】	18	4	2	0	2	1	9	4	4	0
【仙】	22	8	12	6	2	8	2	5	1	0

(球) 毛利 晃 (一) 雁部 博昭 (二) 佐藤 圭 (三) 小倉 貴仁  
 【聖】 齋藤悠, 山川 二 遠藤 一  
 【仙】 吉川 一 川尻 一  
 ▽暴投 齋藤悠1(聖) ▽捕逸 なし

打安点盗犠四三残失併  
 ▽本塁打 鈴木, 川尻 (育)  
 ▽三塁打 湯浅(育)  
 ▽二塁打 なし (聖)  
 湯浅(育) (仙)

	打数	安打	打点
(遊) 三浦 広大	3	2	0
(捕) 遠藤 翼	2	1	1
(投) 齋藤 悠大	3	0	0
投 山川 大生	0	0	0
(一) 小川 惺	2	0	0
(二) 廣田 大輔	2	0	0
(三) 大場 橙弥	1	0	0
(右) 鈴木 健人	1	0	0
(左) 矢内 ユウ	1	0	0
打 佐藤 煌馬	1	1	1
走左 内海 壮太	0	0	0
(中) 中善寺 健	2	0	0

	打数	安打	打点
(中) 濱田 大輔	2	0	1
(右) 佐々木 義	2	0	0
右 原 亜佑久	0	0	1
(三) 湯浅 稔翼	3	3	3
(左) 鈴木 拓斗	4	1	3
(捕) 川尻 結大	4	1	2
(一) 蛭原 琉伽	2	2	0
(遊) 登藤 海優	1	0	0
(投) 吉川 陽太	2	0	0
打 吉川 陽太	0	0	1
(二) 山中 琉空	2	1	1

投手名	打数	投球数	四球	三振	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点		
齋藤 悠大	19	109	4	0	6	1	1	0	2	7	1	1	4
山川 大生	3	10	0	2	2	1	0	1	0	0	0	2	0

投手名	打数	投球数	四球	三振	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点			
吉川 陽太	18	84	5	0	4	0	2	0	9	1	0	0	2	2

【評】

ここまで順当に勝ち上がってきた第1シードの聖和、第4シードの育英の組み合わせになった準決勝第1試合。先に流れを掴んだのは育英。初回、2つの四球で得た好機にて4番・鈴木が大会第3号となるスリーランを放ち先制した。その後も着実に加点し、主導権を握った。一方、聖和も5点差で迎えた5回表、代打・佐藤の適時打を皮切りに3本の安打を集め、2対5に迫った。しかし5回裏の育英の攻撃、2つの失策などで得た無死満塁の好機で、3連続押し出しや2点タイムリーで得点を重ね、さらに5番・川尻が第4号となるツーランを放ち、この一回一気に8点を挙げ、5回コールドで勝利を収めた。また、育英の先発左腕・吉川は2失点ながらも9奪三振を奪うなど好投をみせ、5大会連続の決勝進出に貢献した結果となった。

準決勝 石巻市民球場 2時間 6分

仙台城南	0	2	0	0	0	2	0	1	2	7
学院榴ヶ岡	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3

【仙】	39	14	7	1	1	4	13	10	1	1
【学】	31	8	3	1	2	2	10	5	2	0

(球) 森山 宏則 (一) 武田 徹 (二) 新野 祥平 (三) 邊見 豪志  
 【仙】 小塚 一 阿部 一  
 【学】 佐々木 健 一 澁谷 一  
 ▽暴投 小塚1(城南) ▽捕逸 澁谷1(榴ヶ岡)

打安点盗犠四三残失併  
 ▽本塁打 佐々木(城南)  
 ▽三塁打 佐々木健(榴ヶ岡)  
 ▽二塁打 佐々木, 小塚, 柿崎, 中川(仙)  
 川脇(学)

	打数	安打	打点
(中) 佐藤 柁真	5	1	0
(左) 菅 野 哲	4	0	0
(右) 柿崎 創	4	2	0
(一) 中川 廉	5	2	0
(捕) 阿部 航英	4	0	0
(遊) 山路 進介	4	2	0
(二) 池田 征道	4	2	2
(三) 佐々木 悠	5	3	1
(投) 小塚 光貴	4	2	4

	打数	安打	打点
(三) 川脇 優有	4	3	0
(一) 三橋 瑛太	2	1	0
(左) 佐藤 浩佑	1	0	0
打左 伊藤 進吾	2	0	0
(右) 武田 琉平	4	1	2
(中) 阿部 真心	4	0	0
(二) 佐々木 大	4	1	0
(遊) 鈴木 幸心	2	0	0
打 佐々木 悠	1	0	0
(投) 佐々木 健	3	1	1
打 後藤 翔太	1	0	0
(捕) 澁谷 貴太	3	1	0

投手名	打数	投球数	四球	三振	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点				
小塚 光貴	31	135	9	0	8	0	2	0	10	2	0	1	0	3	3

投手名	打数	投球数	四球	三振	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点				
佐々木 健斗	39	162	9	0	14	1	1	0	13	3	1	0	0	7	5

【評】

強風の中、仙台南が効率よく得点をあげ、決勝にコマを進めた。2回表、四死球2つと捕逸で2死2・3塁から、主戦・小塚の適時打で2点を先制。6回表にも、1死満塁から小塚の適時打で2点追加。8回表には8番・佐々木の本塁打が出るなど、試合の主導権を一度も渡さなかった。

榴ヶ岡も、1番・川脇が3安打を放ち、4番・武田の2点適時打で追い上げるなど意地を見せたが、仙台南の小塚の前に抑え込まれてしまった。

敗れた榴ヶ岡は、明日は東北大会をかけて聖和学園と対戦する。